

報道関係者各位

2025年6月吉日  
株式会社神戸工業試験場

## KMTL とクリアライズ、新プロジェクト「KLEAR」始動のお知らせ

弊社、株式会社神戸工業試験場は、日々顧客から寄せられる様々なニーズに対応するため、受託試験サービス事業について一層の拡充を図りましたのでここにご報告します。

### 1. 概要

2025年5月20日付で、株式会社神戸工業試験場(以下、KMTL)は、株式会社クリアライズ(以下、クリアライズ)との協業をより深化させるべく、新たに発電プラントにおける損傷解析支援をターゲットとした共同プロジェクト「KLEAR(クリア)」を立ち上げました。

### 2. 詳細説明

KMTL は、強度評価を主とする材料試験や試験片加工、関連する特殊機器・装置類の設計・製作事業を手がける、受託試験・分析会社として事業を展開しています。一方、クリアライズは、機器分析を中心とした化学分析や物性評価を提供する受託試験・分析会社であり、両社は共に受託試験・分析業務を基盤としながらも、それぞれ異なる専門性を有しています。

こうした違いを持つ両社は、事業活動の継続的な発展と、技術を通じた社会への貢献を共通の目標とし、2021年にアライアンスを締結。以降、二次電池や水素燃料電池分野をはじめとする協業を進めてまいりました。

そしてこのたび、その連携関係をさらに発展させ、技術の融合と知見の共有を一層推進する新たな枠組みとして、共同プロジェクト「KLEAR(クリア)」を発足いたしました。

KMTL およびクリアライズは、それぞれ発電プラントの運用現場において長年の経験と専門技術を有しており、構造材料の損傷メカニズムに関する多角的な評価と対策の提案を得意としてきました。両社の技術領域は相互補完的であり、KLEAR を通じた連携強化により、国内主要プラントの多くをカバー可能な体制を構築することが出来ます。これにより、日本国内の原子力発電所や火力発電所をはじめとする発電プラントの信頼性向上、安全性評価、ならびにトラブルシューティング対応力の強化を実現し、両社の顧客に更なる付加価値を提供いたします。

### 3. プロジェクト名称「KLEAR」に込めた意味

KLEAR(クリア)は、KMTL と Clearize の両社名を組み合わせた造語です。加えて、「Knowledge(知)」と「Clear(明快さ)」の融合というコンセプトも表しています。この名称には、以下のような想いが込められています：

#### **Knowledge(知)：**

両社が長年にわたり蓄積してきた高度な専門知識・技術力を共有し、融合することで、新たな知の価値を生み出していくこと。

### **Clear(明快さ・透明性):**

技術的な課題に対する明快なアプローチ、そして情報や成果をオープンかつ透明に扱う姿勢を表現。また、“見通しの良い未来”という意味も重ね、社会やパートナーにとって信頼されるプロジェクトであることを意図しています。

KLEAR という名称には、「知を重ねて未来をクリアにする」——そんな知の共創と、未来志向の明快な姿勢への決意が込められています。

#### **4. 今後の取り組み**

KLEAR では、以下のような活動を展開してまいります。

- 分析・評価技術の共同開発
- 発電プラントの損傷解析技術の高度化
- 若手技術者の相互育成と人材交流
- オープンな技術対話と外部連携の推進

#### **5. 2025年5月20日に実施された調印式の様子**



※(左)KMTL 鶴井昌徹 代表取締役社長、(右)クリアライズ 関根善久 取締役社長



※両社 経営陣一同



※両社 関係者一同

以上